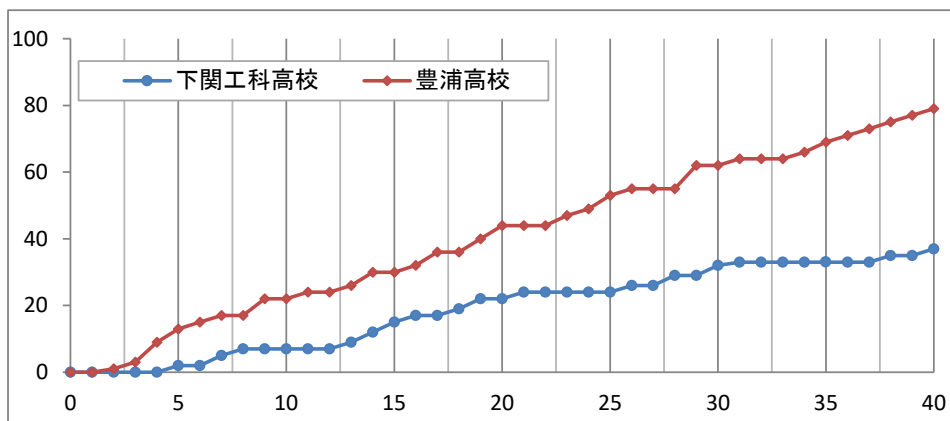


平成30年度 山口県高等学校バスケットボール新人大会 兼 山口県体育大会

男子決勝リーグ 下関工科高校 37 ● 79 ○ 豊浦高校

主審 高部 貴透
副審 川本 賢一

No. 18A3 日時: 2019年1月18日(金) 12:30 会場: 下松スポーツ公園体育館



下関工科高校

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 小川 翼 (C)	16	2	3	4	1	4	1
5	日吉 波音	2	0	1	0	2	2	1
6	大賀 魁	0	0	0	0	1	2	0
7	堀川 陸斗	0	0	0	0	0	0	0
8	大川 凜玖	0	0	0	0	0	2	1
9	* 高山 椋平	2	0	1	0	0	5	2
10	森本 光太郎	0	0	0	0	0	0	0
11	池田 陽海	0	0	0	0	0	0	0
12	高見 柊也	-	-	-	-	-	-	-
13	* 三原 晴希	8	1	2	1	1	3	3
14	梶山 義倅	-	-	-	-	-	-	-
15	河野 海斗	0	0	0	0	0	0	0
16	* 村田 廣輝	2	0	1	0	1	5	0
17	郡山 徹士	-	-	-	-	-	-	-
18	* 松田 大地	7	0	3	1	4	3	1
コーチ	大村 繁人							
合計		37	3	11	6	10	26	9

豊浦高校

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 梅田 陽向 (C)	4	0	2	0	0	1	4
5	坂口 竜也	3	1	0	0	0	2	0
6	* 福谷 直紀	2	0	1	0	0	2	0
7	小西 真樹	3	1	0	0	0	0	0
8	* 砥上 直也	4	0	2	0	1	0	5
9	* 濱田 真魂	14	0	6	2	2	12	1
10	上 永将史	3	1	0	0	1	0	0
11	下田 英佑	8	0	4	0	2	1	2
12	小田 恒志	2	0	1	0	0	3	0
13	西田 颯稀	4	0	2	0	4	3	6
14	* 江藤 晃	6	0	3	0	3	4	3
15	増岡 克哉	12	0	6	0	0	1	0
16	兼俊 拓矢	2	0	1	0	0	1	0
17	羽嶋 大智	6	0	3	0	1	8	0
18	藤井 桜弥	6	0	3	0	1	3	0
コーチ	枝折 康孝							
合計		79	3	34	2	15	41	21

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

下関工科マンツーマンとオールコートゾーンプレスのチェンジングディフェンス。対する豊浦はオールコートマンツーマン。下関工科#4・#18を中心にオフェンスを組み立てるが、豊浦の激しいプレッシャーディフェンスによりなかなか得点することができない。豊浦はプレッシャーディフェンスからファーストブレイクで次々に加点していき、下関工科7-22豊浦。2Q、豊浦はベンチメンバーに代わり、少しディフェンスのプレッシャーが弱くなったところで、下関工科は思い切りのいいオフェンスから得点を重ねていく。豊浦は#4をコートに戻して落ち着きを取り戻し、中外のバランスのいいオフェンスで得点し、下関工科22-44豊浦で前半終了。3Q、下関工科#4のドライブからスタートし、いいスタートを切ったと思われたが、#4・#18の1対1が止められ、苦しい展開が続く。対する豊浦は、速い展開からのオフェンスを試みるが、シュートがリングに嫌われ3分近くノーゴール。しかし、持ち前の激しいプレッシャーディフェンスからファーストブレイクで攻め続け次々に加点していき、下関工科32-62豊浦。4Q、起死回生の逆転を図りたい下関工科は、オールコートでボールにプレッシャーをかけ続ける。豊浦は下関工科のディフェンスに冷静に対応し、落ち着いてオフェンスし得点する。下関工科は#4・#13・#18が積極的にシュートを狙うが、豊浦の激しいディフェンスからなかなか得点までには至らず、下関工科37-79豊浦でゲームセット。決勝リーグの得失点差が関係する今大会。敗れはしたが、最後まで1点でも得点差を縮めようと諦めずにボールを追った下関工科の選手の健闘を称えたい。

© 2019 山口県高体連バスケットボール専門部 記者 守田 智 (所属) 山口県高体連バスケットボール専門部